

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

Monthly Communication Magazine DOYU

2015 June

06

Vol.587



03 [特集] 2015年度 運動方針

原点回帰!人を生かす経営の総合実践で強じんな企業づくり
中小企業の経営環境を改善し、我々が主役の地域再生を

13 第12回 理事会報告

14 6月行事案内

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収しこれからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

記念講演

原点回帰！人を生かす経営の総合実践で 強じんな企業づくり 中小企業の経営環境を改善し、我々が主役の地域再生を

報告者 中小企業家同友会全国協議会 会長 鋤柄 修氏 すぎから おさむ

私の「人を生かす経営」

第53回定期総会、そして一般社団法人福岡県中小企業家同友会設立総会の開催、誠にめでとございませう。

私は中同協の会長として全国におじゃましております。立場上、いろんなことを申し上げるのですが、本日は、私がどのように「人を生かす経営」を実践しているのかをお話しさせていただきます。

私が所属している愛知同友会では、「労使見解を通して同友会らしい黒字企業づくり」をスローガンに活動しております。実際に調査してみますと世の中は7割が赤字ですが、同友会会員は7割が黒字という調査結果が出ました。スローガン通りとなっています。

もし、目標通りでない会員さんがいたら、「なぜ目標通りにいかないんでしょうか」と聞けばいいのです。同友会は弱みを見せた人が一番成功します。わが社（株式会社）の原点は創業にあります。

友人（初代社長）とその奥さんが会社を始め、私も参加しました。当初、売上の9割を占める取引先がいたのですが、だんだん無理難題をいうよ

うになってきました。そこで、そこを手を切って再スタートを図りました。1972年のことです。お得意先1社で売上の1割を超えないようにする。今でもそれは守っています。

翼を鍛えろ！

苦しい時期もありましたが、リストはやりません。400名ほどの従業員がいますから、毎年20名程度の退職者が出ます。その理由は大企業が役所へ行くといひます。人間には職業選択の自由があります。幹部社員は「ここまで育てたのに」と残念な顔をしますが、私は送り出してあげます。私は社員に「ウチで翼を鍛えろ」と言っています。そして「ウチから羽ばたいて、偉くなったらウチと取引してくれ」と。社員は資格取得したり技術を磨いたりしています。

同友会入会のきっかけ

私が幹部になったとき、楽しい会社にしようと会社でマージャンをしました。しかし、そんなことが長く続くはずがありません。ある日突然（ダメテンで、労働組合を作っていました。これにはビックリしました。団体交渉権があるから拒否できません。要望は

「賃金体系の作成」でした。中小企業は人手不足なら中途を採用すればいいと思っていました。そこで新聞に「同友会で経営指針書作成」の文字を見て「これだ！」と思って入会しました。すぐに勉強して賃金体系を作りました。組合とも信頼関係が構築できました。次は社員教育をやっていました。経営者は勉強しないといけません。そのためには同友会で「役」を引き受けることです。「そんな時間はない」という人がいます。時間は有限ですが、平等です。能力は無限です。役を引き受けて課題に取り組めば成長できます。

労使見解に学ぶ

同友会は経営者の生き様をあから

さまにするところです。『労使見解』では経営者の責任を「会社を維持し発展させる」とあります。ある社員が10年間会社について、ずーっと下っ端だったから辞めてしまつてしよう。定期採用が必要なのです。新卒採用が半分を超えたとき、会社は変わります。そしてビジョンを示すと人が付いてきます。経営指針を作成し、社員教育を行い、新卒定期採用をしていくのです。わが社も全国から採用するようになってきました。故郷に帰れば全国に支店が出来るようなものです。おっと、ここで時間が来てしまっています。この続きは次回来てお話しするということで失礼します。

鋤柄 修氏 プロフィール

1941年07月12日 愛知県生まれ
1964年03月 三重大学農学部農芸化学科卒業
1964年04月 フジパン(株)に入社、製造部門に従事
1967年01月 アサヒパル製菓(株)入社
営業課長として従事
1970年07月 総合施設サービス(株)設立
1971年03月 総合施設サービス(株)入社
株式会社エステムに社名変更
1990年10月 (株)エステム代表取締役社長に就任
1991年12月 (株)エステム代表取締役会長に就任
2002年12月 (株)エステム名誉会長に就任
2014年12月 現在に至る



同友会の会歴

1980年 愛知中小企業家同友会入会
1988年 労務労働委員長(5年間)
1995年 愛知中小企業家同友会代表理事
中小企業家同友会全国協議会常任幹事
中小企業家同友会全国協議会情報化促進検討会代表
中小企業家同友会全国協議会幹事長
中小企業家同友会全国協議会会長
現在に至る

(株)エステムについて

1970年07月 総合施設サービス(株)として設立
資本金 7,000万円
従業員数 413名(出向、派遣等含む) (平成25年1月1日現在)
売上高 39億円 平成24年9月期実績
支店・営業所 東海地区を中心に2支店(三重・東京)、10営業所(安城・豊橋・小牧・浜松・長野・長久手・大阪・関東・横浜・九州)、18事業所(愛知、三重、長野、静岡、関東方面など)
事業内容 水処理施設受託管理、水処理プラント設計施工管理、水質分析、環境計量証明事業、環境コンサルティング事業。
住所 〒457-0821 名古屋市中区弥次工町2-9-1 Tel.052-611-0611

原点回帰！人を生かす経営の総合実践で強じんな企業づくり 中小企業の経営環境を改善し、我々が主役の地域再生を

日本経済は、多くの大手企業が史上最高の利益をあげる一方、地域や中小企業にとっては原材料の高騰や消費低迷、人材獲得難など厳しい状況が続いており、景気の二極化が進んでいます。中小企業を取り巻く経営環境は、まだまだ課題が山積みです。

このような中、福岡同友会は本年度より、一般社団法人として生まれ変わります。この法人化は、50年を超える福岡同友会の歴史の中で、先人たちが時代の流れと環境の変化を乗り越え、学びと実践で築き上げた福岡同友会の財産をしっかりと保全するため、また社会からの期待に高いレベルで応えるための第一歩です。さらに前進し成長をめざしましょう。それと併せて、未来をつくるビジョン2020も掲げられ、「これからの未来は我々がつくっていこう」と謳われています。地域のリーダーとして、私たち一人ひとりが自覚と責任をもち、主体的に企業づくり地域づくり、そして同友会づくりに取り組んでいきましょう。

昨年9月に設置された「地方創生」担当相により、全国の各自治体も積極的に動きだしています。しかし、地域を再生するには、そこに根ざす多くの中小企業が中心となり、共に考え動きを起こすことが何より大切です。地域再生のキーワードは、条例・調査・振興会議の三点セットで動くことです。まさに同友会がその先頭にたって動く時が来たのです。

私たちのこの同友会運動は、時代の流れと共に評価され、新しい時代に向けて期待も高まっています。その期待に応えるためにも、会員一人ひとりが自主的、主体的な活動で、同友会の学びを自社で実践し、人を生かす経営で従業員一人ひとりがもつ能力が最大限に発揮される環境を整え、活力に満ちた強じんな企業体質をつくり大きな成果を挙げていきましょう。また、地域の多くの経営者にも声を掛け、仲間の輪を広げ地域づくりに繋げていきましょう。

そして、年に一度開催される経営者フォーラムは、一年間の運動と学びの集大成です。地区会や支部を通じて、運動の成果と課題を確認し、次年度の更なる成長に繋がるように全会員で盛り上げていきましょう。

企業づくり

「人を生かす経営」の総合実践

1. 同友会らしい経営指針にもとづく実践を

経営者の自己変革と経営指針実践の成果を

(1) 社員とともに労使見解にもとづく経営指針成文化と実践運動を推進する。

(2) 企業変革支援プログラムの取り組みや例会参加などで、実践の進捗状況を確認しあう。

2. 社員と共に

戦略的採用と人材育成の実践で企業変革を

(1) 自社の将来を見据えた、新卒採用の重要性を学ぶ共同求人活動を推進する。

(2) 社員と経営者が、「共に育つ」社員教育の本質的な学びを深める。

3. 障害者雇用の推進と労働環境の整備を

「だれもが夢や生きがいを持って働ける社風づくりを」

(1) 障害者雇用への理解を広げ、積極的に取り組む。

(2) 社員の声を反映した労働環境の整備を経営指針に明確に位置づけ計画的に行うことで、仕事への意欲を高める。

(3) 生活と仕事のバランスが取れた働き方（ワークライフバランス）ができるよう努力をするとともに、多様な働き方（ダイバーシティ）を推進する。

(4) 中小企業だからこそ子育てや介護に関して柔軟に対応し、働きやすい職場環境の整備や生活者の視点での仕事づくりを推進する。

4. 女性の活力推進へ

生活者の視点で企業づくりを

(1) 女性が能力を発揮できる場を広げるとともに、女性幹部社員を育成する。

(2) 女性起業家支援と女性経営者の学ぶ場の充実を図る。



■新たな仕事づくりと企業体質の強化をめざして

1. 市場・顧客への対応と付加価値を高める

「エネルギーシフトを学び仕事づくりを」

(1) 同友会で自社の強みや市場を明確にし、市場と強みを引き出しあう場を設ける。

(2) 中同協が提案している「(討議資料) 中小企業家エネルギー宣言案」を議論し、「地消地産」で中小企業の仕事づくりと地域づくりにつながるエネルギーシフトを学ぶ。

(3) 新たな市場をつくりだすためにも、企業連携、産官学金の外部資源を活用した連携による仕事づくりについて学ぶ。

2. 財務体質強化へ向けた取り組み 「いかなる経営環境の変化にも対応できる企業づくりを」

(1) 円安による仕入れ単価の増大や消費税増税などで中小企業の財務が悪化することに対応し、同友会として会員への支援体制を強化する。

(2) 会員同士、積極的に例会やブロック会に誘い、財務の問題にまで踏み込んだ経営課題を率直に話し合う。

3. 後継者問題への対応

「具体的な取り組みで持続する企業づくりを」

(1) 事業承継を学ぶ勉強会などを意識

的に設定し、幹部社員教育や事業継続計画を学ぶあう。

(2) 事業継続に夢が持てる経営指針づくりと、研鑽しあう場を強化する。

4. 起業間もない方、小規模企業の学ぶ場として

「同友会で経営者としてのあるべき姿を学び地域の雇用創出を」

(1) 小規模企業の会員が増えているため、社員を雇用して経営指針を共有し、社員をパートナーとした「組織的経営」を推進する。

(2) 経営の基礎的な学びの場をつくり、強じんな経営体質の確立へ向けた活動を広げる。

5. 国際化への対応

「海外での新たな仕事づくりを」

(1) 同友会活動を通じて、会員間で先進事例に学び現地に行つて実態をつかむとともに、足がかりをつくつて市場や生産拠点づくりを模索するなど、中小企業の国際化を研究する。

地域づくり

■中小企業憲章・中小企業振興条例の推進

1. 中小企業憲章と中小企業振興条例の推進

「具体的な取り組みを」

(1) 6月の中小企業憲章・条例推進月間の取り組みを企画し実施する。

(2) 中小企業振興条例を推進するため「調査・条例・振興会議」の先進事例を学ぶ。

(3) 自治体ごとに中小企業振興条例の進捗状況をとらえ、他団体などと連携して促進する。

2. 行政担当者との定期的な懇談会の実施

「主要都市への政策提言を」

(1) 福岡県および県内主要都市の政策担当者との定期的な懇談会を実施する。

(2) 福岡県および県内主要都市に対し憲章の精神に基づいた政策提言を実施する。

3. 金融機関および他団体との連携 「勉強会や懇談会で関係の強化を」

(1) 日本政策金融公庫、福岡県信用保証協会、各地信用金庫と勉強会や懇談会を実施し、さらに関係を強化する。

(2) 商工会議所、中小企業団体中央会と勉強会や懇談会を実施し、さらに関係を強化する。

(3) 商工会、商店街振興組合などと勉強会や懇談会を実施し関係をつくる。

(4) その他の機関・団体とも連携を視野に入れ関係づくりを考える。

4. 大学や教育機関との連携

「地域で働く若者を」

(1) 県内の大学や教育機関などと連携

して、学校教育の段階から中小企業の魅力が伝わる講義を実施する。

■会員企業の実態把握と対外広報

1. 定期的な調査を継続して実施し、毎回記者発表を

(1) 四半期ごとに景況調査を実施し分析会議にて結果をまとめる。

(2) 景況調査の結果は記者発表を行うことで会外にも広く広報する。

2. 経営環境の急変など、必要に応じた臨機応変な対応も

(1) 必要に応じ緊急調査を実施し速やかに結果をまとめ会内外に広報する。

3. マスコミ各社との信頼関係を維持するために

(1) マスコミ各社の経済担当の部長クラスとの定期的な懇談会を実施する。

(2) マスコミ各社の経済記者との定期的な懇談会を実施する。

■今日的な新たな課題

1. 今日的な新たな課題をとらえ、経営環境や自社経営の改善へ

(1) 公平な税制確立をめざし、法人税の実態や税制のあり方などを研究する。

(2) エネルギーシフトの考え方を学び、地域づくりや仕事づくりに活かす。

(3) 経営者保証ガイドラインを活用し、学習と普及を行う。

同友会づくり

■中小企業が地域経済の主体者であるとの認識をもって、企業づくり・地域づくり・同友会づくりを一体として取り組み、会の組織強化を図る

1. 中期ビジョン2500名の仲間づくり運動の推進

- (1) 仲間づくりを全ての活動の中で、会員が連帯し一丸となつて推進する。
- (2) 他団体との連携や組織を総動員して戦略的仲間づくりを行う。
- (3) 空白地域や新しいエリアに新支部をつくり同友の仲間を増やす。
- (4) 地域からあてにしがてにされる、同友会理念型企業を多く輩出する。

2. 役員づくりの強化

- (1) 同友会運動と企業づくりを不離一体として、人を生かす経営の実践で会員をリードし将来を担う役員づくりを行う。
- (2) 同友会と企業の後継者、日本と世界の未来を創る次代のリーダーとして青年リーダーを育成する。

3. 広報・情報化活動の強化

- (1) 同友会運動を力強く推進するために、会活動の情報収集と産官学金マスコミとの連携を図り、情報創造と会内外発信を強化する。
- (2) 対外広報を強化する。

4. 組織の整備

- (1) 福岡地区の分轄を進め、地区会は支部活動の活性化支援を強化する。
- (2) 顔が見え企業が見える適正規模の支部再編の協議を行う。
- (3) 法人化に伴い、会内外に対して、より効果的な組織運営の検証・評価を行う。

5. 財政の健全化

- (1) 健全財政のために、中長期的財務戦略と活動費の検討を行う。
- (2) 予算執行状況を検証する。

6. 事務局強化

- (1) 事務局指針にもとづく活動を進める。
- (2) 事務局員を同友会運動の強力なパートナーであるとの認識で、人材育成を推進する。
- (3) 会運動発展のためにシンクタンク機能を強化する。
- (4) 事務局の労働環境整備を更に推進する。

2015年度 各部門活動方針・計画

1 本部・室など

● 人を生かす経営推進本部

本部会議を通し、4委員会の活動報告による連携を深め、「人を生かす経営の総合実践」運動の推進を図る。

● 仲間づくり推進本部

福岡同友会の会員数は20年余り減少傾向が続いておりましたが、漸く2012年度に底を打ち、ここ近年確実に会勢向上の兆しが見えています。

そして2015年活動方針に沿って、企業づくり、地域づくり、同友会づくりを力強く推進するためにも、活動の質を高めると共に沢山の同友の仲間を増やすことが重要です。

また、新しい仲間を迎える「増」の活動と、同友会で学び自社を良くし、理念の体現者となつて戴く「強」の活動は仲間づくりの車の両輪です。

そこで新年度より本部組織を改正し、仲間づくりを力強くそして効果的に推進して参ります。

● 広報情報化推進本部

● 戦略的広報の研究（広報部・情報部・報道部各部の計画的・効果的な活用）

● 県の広報交流会の企画・運営

● 広報勉強会の企画・運営

● 会員情報のデータベース化

● データベース化の目的

A 会活動で生じる情報を集約、分析し、今後の会活動に役立てるため

B 会員企業を絆ぐために各会員企業の技術や商品やサービスに加え、強み・取り組みを集約する。また、産学官金報連携に活用できるものとする。

● 中小企業憲章推進本部

＜政策金融室＞

① 中同協と連携して憲章・条例を推進する。

② 6月の憲章・条例推進月間の取り組みを企画し実施する。

③ 中小企業振興条例の「調査・条例・振興会議」の先進事例を学ぶ。

④ 法人税など税制の勉強会を検討する。

⑤ エネルギーシフトの勉強会を企画し実施する。

⑥ 経営者保証ガイドラインを活用し学習と普及を行う。

⑦ 各地区会の地域政策部の活動を推進し支援する。



⑧福岡県商工部と定期的な勉強会を実施する。

⑨福岡県知事に憲章の精神に基づいた政策提言を実施する。

⑩日本政策金融公庫や福岡県信用保証協会などの金融機関と勉強会や懇談会を実施し関係を強化する。

⑪商工会議所や中小企業団体中央会と勉強会や懇談会を実施し関係を強化する。

⑫その他の機関や団体とも連携を視野に入れ関係づくりを考える。

＜景況分析室＞

①四半期ごとに景況調査を実施し分析会議にて結果をまとめ会内外に広報する。

②必要に応じ緊急調査を実施し速やかに結果をまとめ会内外に広報する。

③毎年後半に情勢勉強会を実施し次年度の方針につなげる。

●報道部

①四半期ごとの景況調査の結果を毎回記者発表する。

②環境の急変などによる緊急調査や代表談話などのマスコミ対応をする。

③マスコミ各社の経済担当の部長クラスと定期的に懇談会を実施する。

④マスコミ各社の経済記者と定期的に懇談会を実施する。

●役員研修室

県の方針に基づき、次代を担う役

員の育成のため、役員研修大学を開講する。

〔第23期役員研修大学(開催要項案)〕
同友会運動における役員の意義と役割を明らかにして、1年間をかけて歴史と理念および同友会運動の実践を学ぶ。

●青年部連絡会

●支部の垣根を越えた青年経営者同士の交流、学びを行う。

●青年部連絡会の理念、存在意義、役割等を明確にする。

●福岡県中小企業家同友会内での青年部連絡会の認知度を上げる。

●福岡県の地区毎に青年経営者による集まりを作る。

●全国に福岡県の青年経営者の魅力のアピールする。

2 委員会

●経営労働委員会

(1)経営指針成文化運動を身近な地域で展開できるように進める

①地区で開催されるあすなる塾の運営について成文化したマニュアルを作成し、誰もが取り組みやすい体制を作り、地区のあすなる塾を活性化する。

運営に関わる地域の会員を増やし、身近な顔が見える仲間同士で学びあう体制を作る。

②現在の二泊三日経営指針作成セミ

ナーは残しつつ、外泊や長期の不在が難しい会員にも成文化の機会を広げるため、将来的には内容を3分割した1日ずつの経営指針成文化セミナーを県内数箇所の拠点で開催できるように、報告者の育成およびテキストの作成に取り組む。

③委員会内でマニュアルの検証やセミナーのブレ報告会を開催し、経営指針についての学びを深め、自社での実践および地区での学びあいのレベルを上げる。

(2)経営指針の成文化は入会後3年以内を目指す

①支部例会他同友会での学びを深めるためにも、「入会後3年以内」を成文化の目標とする。

②特に入会から3年以内の会員の方へ重点的に経営指針成文化を推奨する。

(3)労使見解に基づく経営指針を実践して成果をあげる

①あすなる塾および経営指針作成セミナーの運営サポートを通じて、労使見解に基づく経営指針の学びを深める機会をひろげる。

②共同求人・共育・バリアフリー委員会との連携を深め、人を生かす経営実践の場を作るよう推奨する。

(4)企業変革支援プログラムの普及でチェック&アクションを強化する

①企業変革支援プログラム登録会を年2回開催する。

②あすなる塾で企業変革支援プログラムの紹介を行う。

企業変革支援プログラムは経営指針の実践において、PDCAの「C・Check」にSTEP1が、次に計画を立てる「A・Action」にSTEP2が有効であるが、その活用方法がまだまだ普及していない。その背景には、使い方がわからないこと、登録方法がわからないこと、チェックしたからこそからどうしたらよいかわからないこと、などがある。第二段階でこれらをサポートできる人が身近にいることや、検証する機会を設定することが必要と考えられる。

●共同求人委員会

＜基本方針＞

新卒採用・新入社員共育の実践を通して企業変革をめざす

■同友会らしい経営指針にもとづく実践を

経営者の自己変革と経営指針実践の成果を

経営指針書で採用と共育の重要性を知ってもらうために、経営労働委員会と連携する

■社員と共に

戦略的採用と人材育成の実践で企業変革を

共同求人活動の参画企業を増やす

共同求人勉強会を開催し、各企業

の採用力を向上する

- 合同企業説明会を開催する(5月・10月)

- 地区会と連携した採用活動の推進を図る

- 合同入社式、新入社員研修、新入社員フォローアップ研修を開催し新入社員と経営者が共に育つ機会をつくる

- 起業間もない方、小規模企業の学ぶ場として

- 同友会で経営者としてのあるべき姿を学び地域の雇用創出を

- 「組織的経営」、新卒採用の重要性を推進する

- 大学や教育機関との連携・地域で働く若者を

- 開物成務塾との連携

- 大学訪問を行う(10月、3月)

- 大学と企業の懇親会を開催し情報を共有する

- 大学が開催する懇談会に参加し情報を共有する

- 大学のキャリア開発講義に協力する

- 各地区会での共同求人部会の立ち上げをめざして採用活動の推進、全県的な連携を進める

- 採用を通して地域に人を残す活動を行う

- Jobway登録企業を増やし、学生の中小企業認知度を高める

● 共育委員会

〈基本方針〉

2015年度の県方針に沿って「人を生かす経営」の推進のなか共育および社員教育の必要性を広報すると共に、会員各自の企業内共育の強化、社員の社会性を高める「集合共育」を派遣される会員企業と共に実施し、会員経営者と共に学びます。

● バリアフリー委員会

人を生かす経営推進本部の基本方針に基づく「人を生かす経営」の総合実践

◇ 同友会理念に基づいた人間尊重の経営を自分の言葉で語れるよう実践

◇ 会外・会内への情報発信の強化

〈障がい者雇用に向けて〉

雇用の促進・定着支援・データ集積と整理、職場体験・実習受け入れマッチング仕事の創出・共同受注体制の構築

● 企業連携推進委員会

経済界の活力源となる高次都市機能の向上と産学官連携の強化を行う。また、新たな仕事づくりと企業体質の強化をめざして企業の成長と発展につながることを目的に活動する。

● 地球環境問題委員会

多様な環境問題について学び、新たなビジネスチャンスを探す。

〈活動内容〉

勉強会の実施(年6回程度)、会員企業の実践報告、同友エコ2014の推進、ペーパーリサイクル事業、エコテクノ2015展示会への出展

● 国際交流委員会

中小企業の国際化に対応するため、アジアを中心とした諸外国の政治・経済等の情報を集約し、具体的な海外進出につなげていく。毎月、会員または会外講師による報告会、勉強会の開催、海外現地視察の実施予定。

● ソーシャルビジネス委員会

10年後の社会問題を自社の事業で解決していく。今後起こりうる様々な社会問題の解決を「継続できるビジネス(ソーシャルビジネス)モデル」として、異なる活動団体とディスカッションすることで、革新的アイデアを生み出し、その地域に必要とされ継続していける中小、小規模事業・団体を目指していくことを目的とする。

● 女性部委員会

女性部委員会は、「同友会内での女性活躍を推進する」という方針で活動してきましたが、「女性活躍」は政府の日本再興戦略の柱となり、社会全体ですすめていく大きな問題となってきました。同友会において、女性部



議長を務めた廣岡氏(左)と伊藤氏(右)

のみが活動することではなく会全体として考えていく必要があります。そのことをふまえ、県方針に基づき下記の活動を行っていきます。

①「女性活躍」「男女共同参画」をテーマとした例会を開催する。

② 女性会員の「経営体験報告」に加え「企業訪問」例会を取り入れ、学びの場の充実を図る。

③ 仲間づくり本部と連携し「女性経営者を対象にした知る会」を開催し、女性経営者に学びの場を広く伝える。

④ 委員会の役員会で、自社の現状や業界について報告する。また、同友



会理念、労使見解や中小企業憲章など同友会が取り組んでいることについて学び、女性部役員として、経営者として資質を磨く場を充実する。そして、全国交流会や支部への参画を積極的に行う。

● 同友すばる委員会

県方針に基づき、同友すばる委員会では事業承継塾を開催する。2015年度は、事業承継に関する専門的な内容や「事業承継計画」作成による計画的な事業承継の推進。また、後継者側に焦点をあてた講座を新たに加えた内容で開催する。

● 経営者フォーラム実行委員会

「第25回福岡県中小企業経営者フォーラム」方針

めまぐるしく変化する経営環境。少子高齢化による国内市場の縮小。アベノミクスによる財政・金融・経済政策に伴う企業間格差の増大。消費税増税や様々な社会負担の増加。東南アジア経済圏の著しい成長。中国・韓国との外交不和。これらのどれを取っても我々中小企業の経営にとって多大なる影響を与えています。

福岡同友会が主催する最大イベントである中小企業経営者フォーラムは、1年間の運動と学びの集大成となる行事であると共に、各地区会や支部を通じて同友会運動の成果と課題を

確認し、次なる成長につなげていく必要があります。

現在の中小企業を取り巻く様々な経営環境の変化に対応するには、経営者自ら変革の旗を掲げて前に進んでいくことがいままでも以上に大切な時代にすでに突入しています。チャレンジ精神を持ち、変化する外部環境に対応できる人材の育成を行い、組織変革を促し、新しさに向き合い行動していく企業づくりを社員さんと共に目指していきます。

③ 地区会

● 福岡地区会

スローガン

「活かす同友会づくり！」

「同友会の学びを実践し、自社企業の成長へ繋ぐ」

消費税が増税されて1年が過ぎましたが、個人消費の回復は弱く、また円安により大企業の業績は過去最高を更新している一方、中小・小規模企業は輸入原材料の値上がり等で業績への影響が懸念されています。そのような状況の中でも、経営者は自社を守り存続させ、成長させていかなければなりません。

中小企業家同友会の最大の目的は、会員企業や地域の企業が発展することではないでしょうか。そのために福岡地区会では、県委員会や地区での専門的な経営課題の学びや、支部活動

(例会・ブロック会)における互いの経営実践の検証・学び合いと会員同士の交流を深めることで、同友会がめざす企業づくり・仕事づくり・地域づくりの実践を推進し、企業の成長・発展へと繋げて頂けるよう活動を進めて参ります。

また、支部活動の更なる活性化と、すべての同友会活動が支部の垣根を越え、知り合い、学び合いの交流が深まるよう支援致します。

本年度、福岡同友会是一般社団法人としてスタート致しました。原点に立ち戻り、同友会運動の意義を確かなものとして、さらに同友会運動を発展させて参りましょう。

■ 企業づくり

「人を生かす経営の実践と新たな仕事づくり」

1. 経営者の自己変革と経営指針の実践の成果を

(1) 「あすなる塾」の開催と「経営指針作成セミナー」への参加促進

(2) 「企業変革支援プログラム」活用の推進

* 活用・実践のための勉強会の開催

(3) 各支部が開催する勉強会を支援し、必要に応じて支部の枠を超えて、地区会員に案内をして参加促進を行い、企業づくり活動を推進する

2. 人材採用と育成による企業変革

(1) 県委員会(人を生かす経営4委員会)への参加促進



議案への質問の様子

* 会員への活動の紹介

* 幹事会での学習

3. 市場・顧客への対応と付加価値づくり

(1) 産学官金連携の「開物成務塾」を開催

■ 地域づくり

「地域との連携、協力を進め、よりよい経営環境をめざす」

1. 中小企業憲章・条例推進月間(6月)に開催予定の全県勉強会の参加促進と学習

2. 中小企業振興条例制定(または条例に基づく施策の展開)に向けた具体的な取り組み

以前より政策要望等を行ってきた

福岡市をはじめ、糸島市、志免町に地元の会員を中心にして働きかけを行う。

3. 行政との関係づくり

(1) 福岡市との懇談会の継続実施

(2) 糸島市、志免町との関係づくりと

条例推進

(3) 粕屋町との関係づくり

4. 金融機関との関係づくり

(1) 福岡信用金庫との業務提携に向けた取り組み

(2) その他金融機関との関係づくり

5. 教育機関との関係づくり

6. 会員企業の実態把握（成果と課題）

景況調査アンケートの回答率アップと分析結果の活用

■同友会づくり

「経営を学ぶ仲間を増やし、仲間の会社を良くする組織づくり」

1. 仲間づくり（各支部の目標達成をめざして）

(1) ブロック会活性化・強化のための取り組み

* 企業訪問と経営談義を基本に

* 全ブロック1名以上の純増をめ

ざして

(2) 「同友会を知る会」の推進

(3) 支部例会の企画および開催結果について検証

2. 役員づくり

(1) 支部役員を対象とした研修会を地区会主催で実施

3. 会員交流

(1) 新年祝賀会の開催

4. 福岡地区分割の推進

(1) 地区分割のシミュレーションとして幹事会を4グループ化し、幹事会（会議）を全体討議と議題に就いてグループ討議に分け、論議を深めることができるよう取り組み運動の展開や方針の支部への浸透を図り、その結果を検証する。

「つなぐ人の輪、地域づくり」
「共に育つ企業づくりの実践と運動を！」

●北九州地区会スローガン

日本経済は、多くの大手企業が史上最高の利益をあげる一方、中小企業にとつては原材料の高騰や消費低迷、人材獲得難など厳しい状況が続いており、景気の二極化が進んでいきます。北九州市においては、3年後に新日鉄住金の小倉工場の高炉の火が消えます。鉄のまちの火が消えようとしています。3年後には大きく仕事が増え、働く場が減少すると考えられます。

このような厳しい経営環境の中でも私達は働く場を守る責任があります。働くことを通して、お客さんや共に働く仲間にあてにされ、「ありがとう」と言われることで、人は人間として成長し、生きる喜びを得ることが出

来ます。この場を提供できるのは、私たち中小企業ではないでしょうか。社員も経営者も共に育たなければ、企業の成長はないのです。「人はみんな違って、みんないい。」と大田堯先生がおっしゃるように、人間の多様性と不完全さに向きあう事が、人間尊重経営の入り口です。

中小企業が雇用全体の70%を担っています。働くということは暮らしをつくるということに繋がります。暮らしをつくるのも中小企業が大きな役割をしています。だから私達同友会は、地域をつくる運動をしているのです。

一人で行うのは行動。仲間とアクションを起こすのは活動。同友会は運動です。周りの人を巻き込んでいかなければ運動にはなりません。だから仲間づくりが大切なのです。

同友会の三つの目的は企業家の三大責任であり、使命だと思っています。人を生かす経営の実践で、社員と共に成長できるきらりと光る企業をつくり、周りの経営者を巻き込むことでさらに多くの輝く企業をつくり、それらの会社が働く場を生み、納税し、地域を支えます。そのような企業の経営者が経営体験を同友会で報告して会内で共有することで、同友会も発展していきます。同友会の理念を具現化した企業が北九州地区にたくさんいる状態をつくっていきたいと思います。

■企業づくり

1. 経営指針の実践

●経営労働（あすなる塾）活動を通じて、「人を生かす経営」を実践する為に欠かせない経営指針書づくりを推進します。

■地域づくり

1. 中小企業振興条例の推進

●中小企業振興条例の制定とその後活用を推進する為、勉強会を開催します。

●北九州地域の市町村と関係づくりを進めます。

2. 行政担当者との懇談会の実施

●中小企業振興条例に関する勉強会に、行政担当者に参加して頂き、意見交換を行います。

3. 金融機関との連携

●日本政策金融公庫との関係を深めるため定期的な情報交換を行います。
●福岡びびき信用金庫との関係を深めるため定期的な情報交換を行います。

4. 大学や教育機関との連携

●北九州にある大学と連携が出来ないか模索をします。

■同友会づくり

1. 仲間づくり運動の推進

●両支部と連携して、未だ同友会を知らない中小企業経営者にブロック会、支部例会、オープンセミナー等を通じて同友会を知ってもらい、一人でも多くの新しい仲間を迎え



ることが出来る運動を行います。

- 地区ニュース発行を通じて会の内外へ向けて情報発信し、地域内での認知度向上を目指します。

2. 組織の整備

- 両支部と連携して、顔が見え企業が見える支部づくりを進めます。
- 地区会は支部運動推進の為に支援を強化します。

● 筑豊地区会

スローガン

「力強く一歩前進の同友会」

「過去から学び、さらに成長するための明確なビジョンづくりを」

1995年3月に筑豊支部が誕生しました。それから10年後に筑豊地区会が発足し嘉飯支部が誕生しました。本年度は筑豊支部20周年、嘉飯支部10周年の節目の年です。過去10年、日本経済は世界的金融危機や未曾有の大災害などさまざまな困難に直面し、デフレ基調の経済はわれわれ中小企業の経営に重い足かせをかけた。そして現在も株価水準、極端な円高は是正されたものの中小企業の業績回復は一部に留まっています。

これから先の10年、少子高齢化、都市二極集中という構造的な問題を抱えながら、われわれ中小企業がどうあるべきかを今、真剣に考えなければいけません。日本再興戦略にもあるように地域経済における中小企業の

役割は非常に大きく、主体者であることを自覚しこの筑豊地区会でも明確なビジョンをつくっていかねければなりません。われわれ同友会が地域の担い手として力強く歩を踏み出し

ましょう。筑豊支部、嘉飯支部の両支部それぞれの会員が学びを深め、そして協力し、より良い会社、より良い地域を作っていくしましょう。

1. 経営者フォーラムはじめ、県委員会への参加促進

県推進委員会を中心として、支部にとどまらない様々な学びに対して会員が積極的に参加するようなくくみを作ります。

2. 例会の充実

過去2年間、筑豊、嘉飯合同で開催していた例会から、本年度から各支部の企画運営による例会が開催される。2年間の経験を活かし、それぞれの支部で特徴あるさらに進化した例会を開催するため地区会はしっかりと支援します。

3. 田川支部設立準備委員会の設立

田川支部の新設に向け、準備委員会を立ち上げます。会員増強や地域連携など筑豊、嘉飯両支部が力を合わせ、2年以内に田川支部を設立します。

4. 地区会におけるビジョンの作成

田川支部の設立もふくめ、これから筑豊地区会がどのような方向に進んで行くのか、福岡同友会2020

年ビジョンを基に、地域における独自の目標設定を行います。

● 県南地区会

スローガン

「原点回帰！人を生かす経営の総合実践で強じんな企業づくり」
「中小企業の経営環境を改善し、我々が主役の地域再生を」

今年度の重点的な活動

- ① 新たな拠点としたセンター事務所を中心とした行政や団体との連携を進める。
- ② 空白地域への取り組みを強化し、200名の組織作りを早急に進める。

■ 企業づくり

- 「人を生かす経営」の総合実践
- (1) 経営指針成文化を推進するとともに、企業で実践するための学習・交流をすすめる。
- 新たな仕事づくりと企業体質の強化をめざして

- (1) 県南地区の産業の未来を考え、大学、高専、高等学校と連携して、新商品、新サービスの研究開発を行えるよう積極的に関係を築く。
- (2) 円安による仕入れ単価の上昇や専門職の不足による労働単価の高騰などで中小企業の財務が悪化する

- ことに対応し、同友会として金融機関との提携を推進し、間接的に会員への支援体制を強化する。
- (3) 事業承継を学ぶ後継者と幹部社員

が参加できる例会を開催し、幹部社員教育や事業継続計画を学びあう。

■ 地域づくり

- 中小企業憲章・中小企業振興条例の推進

- (1) 県南地区主要都市の政策担当者と定期的に懇談会を実施できる環境づくりをする。

- (2) 県南地区主要都市に対し憲章の精神に基づいた政策提言を実施できるように学習会を開催する。

- (3) 県南地区内の大学、高専、高等学校と、連携できる分野の学習会を定期的に開き、中小企業の育成と人材の確保につなげる。

○ 会員企業の実態把握と対外広報

- (1) マスコミ各社支局と例会等の取材を通じ活動を広報する。

■ 同友会づくり

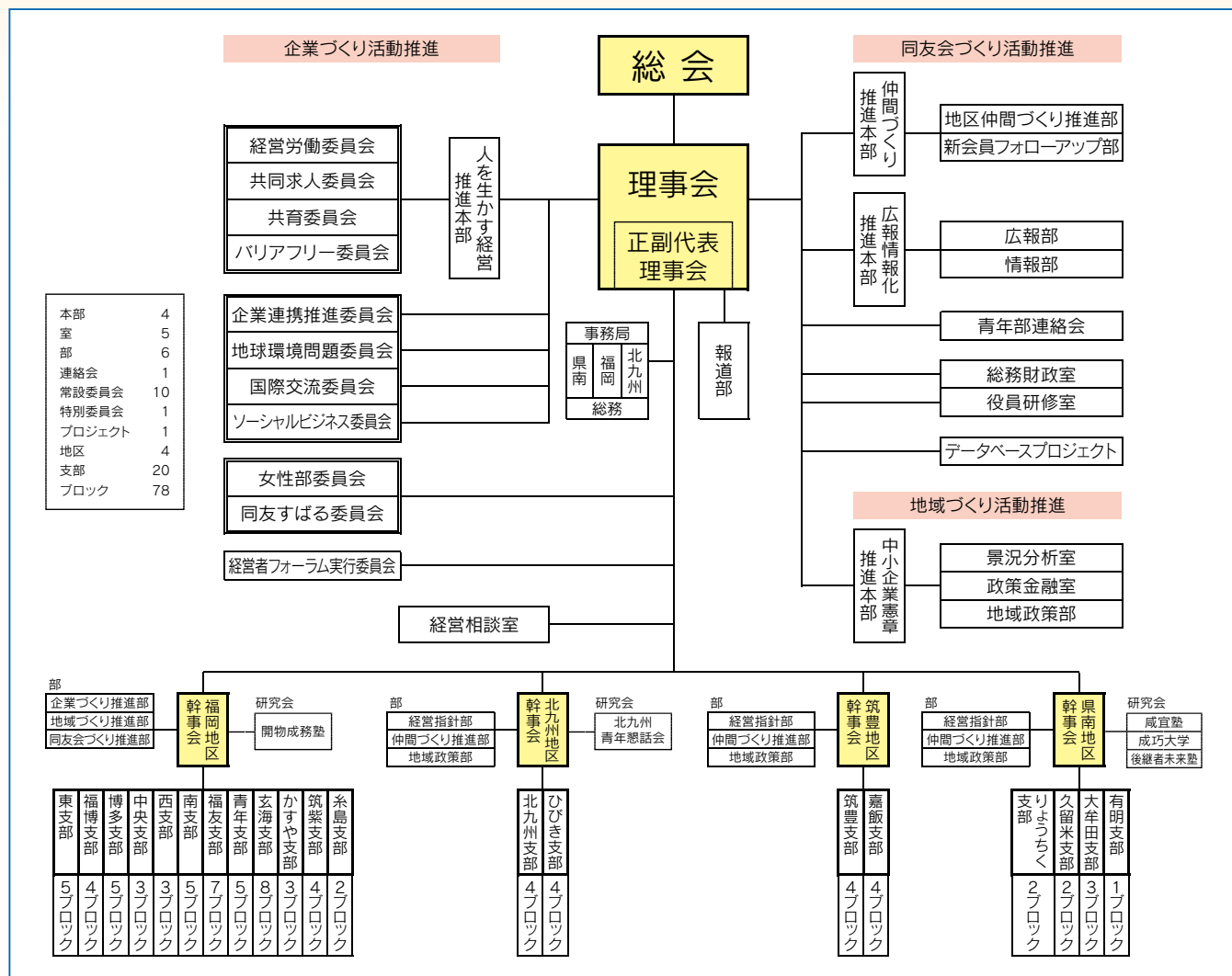
県南地区として、地域を活性化していくために行政や他団体との連携等をめざし、新たに地域の拠点としてのセンター事務所を開設する。このことを通じて運動の推進と地域づくりに更に貢献する。

- (1) 空白地域に同友会の活動、運動を認識されるように、幹事会、支部役員会と連携して例会や知る会を行う。

- (2) 月刊同友会を使い、主要自治体、他団体等への対外広報を強化する。

- (3) 県南事務局センター開設後は県南地区の活動活性化を推進する。

2015年度組織図



総会表彰の様子



議案の説明をする田浦代表理事



第53回定期総会 表彰 (敬称略)

● 永年会員表彰 (会歴30年に達した会員)

岩猿 眞治 照栄建設(株)
佐々木 吉夫 福さ屋(株)
江田 博 江田労務経営事務所
坂本 文比古 坂本歯科医院
時川 真一 朝倉地質工業(株)
渡利 俊雄 渡利税理士事務所
北原 昭 (株)ヤマプラス福岡
藤原 康弘 (株)ダイナ

林田 俊一
渡辺 むつみ
平山 隆之
木村 征子
中村 伸子
古賀 亮徳
藤吉 紀良美
吉村 俊雄
木本 隆洋
安松 達郎
近藤 正明
竹野 孔
高橋 英治
松谷 繁信
石原 利朗
伊集院 明
長澤 幸成
原田 秋彦
田上 眞

林田税理士事務所
(有)MFクリエイション
(有)ヤマヤ販売
ステージ居酒屋・唄い亭
あおぞら法律事務所
(株)プロインテック
(株)アイ企画
(株)環境保全管理センター
ナーセリーさぬい
(株)やすや
(株)寿陽建設
(株)タケノ
(有)筑紫印刷
(株)モーターブロック
(株)ジー・ピー・イー
ウィズ・パートナーズ(株)
長澤自動車工業(株)
原田秋彦税理士事務所
(医)真和会 たがみ医院

渡辺 誠治 フローリストわたなべ (有)花樹園
井上 政次 (株)アイバックス
倉本 明彦 (株)システム企画
小島 隆志 税理士法人 小田・小島総合会計
今村 成剛 (株)今村組
黒木 文康 黒木文康司法書士事務所
林田 悠紀子 (福)明日へ向かって
山城 辰己 (有)ギフトセンター山城
中村 成典 大成管理開発(株)

● 永年会員表彰 (会歴20年に達した会員)

松岡 義文 (有)松岡重機サービス
藤木 徹雄 フジキ印刷(株)
栗田 裕生 (株)アドツーリスト
井上 榮 (有)井上工業
衛藤 嘉幸 (株)衛藤工務店
樋口 康治 (株)アイル
松村 茂和 (有)カーリスター
山田 眞一郎 (医)親仁会

● 増強 (仲間づくり)

①支部表彰(会員増強最高の支部)
入会数(支部で紹介いただいた新会員数)
福友支部 43名
入会率(入会数を期首会員数で割った数)
ひびき支部 32%
②個人表彰(年間5名以上の新会員の入会推薦をした会員)
市丸 皓士 (株)TSS 代表取締役
〔ひびき支部〕 増強数 7名

2015年度 役員予定者 (敬称略)

● 代表理事

中山 英敬 (株)ヒューマンライフ
田浦 通 (株)シティーライン
樋口 康治 (株)アイル

● 副代表理事

貞池 龍彦 (株)アビリティ・キュー
森 茂博 和新工業(株)
新内 一秋 (株)筑紫工業

● 地区会長

福岡地区 笠置 重子 (有)タイセイ
北九州地区 坂本 敏弘 計測検査(株)
筑豊地区 廣岡 正儀 (株)フクデン
県南地区 濱田 満広 濱田設備

● 室長

総務財政 中野 正志 (株)福岡リノベーション
政策金融 玉井 輝大 (有)abc機会社
景況分析 中山 英敬 (株)ヒューマンライフ
役員研修 渡木 繁 (有)コスモライフ

● 中同協副会長

中村 高明 (株)紀之国屋

● 青年部連絡会 代表

林 直輝 輝翔法律事務所

● 委員長

経営労働 山口 明子 ASAP動物病院
共同求人 濱田 浩光 貼リアップ(株)
共育 光本智恵子 (株)すこやか工房
企業連携推進 伊藤 裕一 伊藤建築設計事務所
地球環境問題 鐘川喜久治 (株)鐘川製作所
バリアフリー 牧本 貴宏 (株)まきもと 向日葵グループ
国際交流 工藤 芳純 ワイズ・サポート
女性部 村山由香里 (株)アヴァンティ
同友すばる 堺 光則 (株)創建サービス
ソーシャルビジネス 小津 智一 (株)OZ Company
経営者フォーラム 日高 美治 キューハイテック(株)
役員選考 中村 高明 (株)紀之国屋

● 地区副会長

福岡地区 須藤英一郎 (株)創美
北九州地区 市丸 皓士 (株)TSS
筑豊地区 阿比留恭之 (有)渡辺鉄工
県南地区 林田 浩暢 (資)若竹屋酒造場

● 地区幹事長

福岡地区 中島 克海 (株)グッド・サポート
北九州地区 松木 祥也 (株)松木工務店
筑豊地区 有田 栄公 有田電器情報システム(株)
県南地区 金川 利子 リビングT&S

● 支部長

東支部 向井 徹 キャリアパス(株)
福博支部 奥村 正博 奥村社会保険労務士事務所
博多支部 小松 公範 (株)コマツ設計事務所
中央支部 齋藤 智也 セビア商事(株)
西支部 末竹 哲 (有)日研
南支部 北原 正 社会保険労務士法人COMMITMENT
筑紫支部 浦田 秀徳 ちくし法律事務所
福友支部 山田 秀樹 日本ビルケア(株)
青年支部 野上 尚希 エヌツーブラン(株)
玄海支部 崔 博徳 (株)セガン
かずや支部 吉田 耕二 (株)吉田
糸島支部 持田 千年 (有)クリーン彩花
北九州支部 中川 照将 (株)アフエットプラスワン
ひびき支部 小林 正広 (株)上津役製作所
筑豊支部 上本 昭南 (株)上本アルミ建材
嘉飯支部 原田 正浩 (有)マシンサービス社
久留米支部 西富 健司 西邦化学産業(株)
大牟田支部 福島 忠博 今昔きもの処京美屋
有明支部 竹下 政敏 竹下産業(株)
りょうちく支部 里村 博 里村工芸

● 事務局・専務理事

川畑 義行 福岡県中小企業家同友会

● 監事

平石 勝之 Gcomホールディングス(株)
長 伸幸 長公認会計士事務所
諸岡昭三郎 MORO企画

2014年度 第12回理事会報告

■ 日時：2015年4月22日(水) 15:00～18:00

■ 場所：福岡県中小企業振興センター 202号会議室

■ 出席：42名(欠席12名) 出席率77.8% オブザーバー 3名

■ 議長：時枝副代表理事

承認・確認されたこと

- 1 2014年度決算
- 2 2015年度最終予算案
- 3 法人化に向けた定款修正案
- 4 総会への参加促進及び設営に関する役割分担
- 5 経営者フォーラムのテーマ及び基調講演
- 6 経営者フォーラム開催に向けての理事会・委員会の役割の整理
- 7 役員研修大学企画案及び報告集立替金

対外関係

- 1 共催・後援等
 - ・福岡市緑のまちづくり協会より、評議員の推薦依頼があり、川畑事務局長の就任が承認された。
 - ・「第3回しんきん合同商談会」への名義講演の依頼があり、承認した。
- 2 案内
 - ・福岡財務支局より案内「持続可能な高齢化社会をテ

ザインする～公共部門のあり方と日本社会～」財務省大臣官房審議官 藤城 眞氏を交えて討論会開催

- ・九州情報大学より、「平成27年度キャリア教育連携事業」がスタートした。
- ・スマイルアゲインが音楽の教科書に掲載される旨の新聞報道の紹介。

会員企業の動き

- ・経営革新計画承認企業(2015年3月) 3社
九州特種電線(株)、(有)野口食品、(有)タイセイ
- ・経済産業省「がんばる中小企業・小規模事業者300社」
(株)スペースRデザイン

※ 理事会報告全文は、e.doyuの文書管理(理事会報告-2014年度)にアップしています。会員の方は全て閲覧できます。

あなたの相談に**複数**の専門家が応じます！

専門職による暮らし・事業なんでも相談会

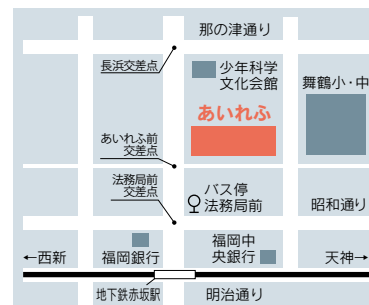
先着順
予約不要
(当日受付)

社会保険労務士・弁護士・公認会計士・税理士・司法書士・土地家屋調査士・不動産鑑定士・行政書士が
「無料」で相談に応じます。お気軽にお越しください。(相談時間は1件30分まで)

■ 開催日時：2015年**6月6日(土)** 10時～16時 (受付終了 15時30分)

■ 開催場所：福岡市健康づくりセンター あいれふ10階講堂 (福岡市中央区舞鶴2-5-1)

相談内容 不動産全般、境界問題、金融・金銭トラブル、賃貸借トラブル、相続・遺言・贈与、税金、家庭問題、男女問題、年金・社会保険、高齢者・障がい者各種相談、交通事故、契約、労働問題、相隣関係、会社・法人全般、各種許認可申請、経営・会計、国籍・在留資格、セクハラ、パワハラ、DV、その他行政手続き、各種登記手段、法律一般なんでもお尋ねください。



主催：福岡専門職団体連絡協議会(事務局 福岡県社会保険労務士会)／**構成団体**：福岡県社会保険労務士会、福岡県弁護士会、日本公認会計士協会北部九州会、九州北部税理士会、福岡県司法書士会、福岡県土地家屋調査士会、福岡県不動産鑑定士協会、福岡県行政書士会／**共催**：福岡市／**後援**：福岡県

■ お問い合わせ先 ☎ 092-414-8775 (事務局)

■ 開催日専用番号 ☎ 090-9483-5407

専団連

検索

<http://www.sendanren.jp/>



18 木 18:00~20:30 福博支部 6月例会

未来は我々がつくる ～過去から現在、そして未来へ～

■ IP CITY HOTEL 福岡市博多区中洲5丁目2-18 ☎092-262-2009
 ■ 日高 美治 氏 キューハイテック株式会社 代表取締役 (博多支部)

今期の福博支部の活動テーマは「『実践から学ぶ』～すべては行動から始まる～」です。「学び」と「実践」がほぼイコールという方は少ないのではないのでしょうか。日高さんは、決して現状に満足することなく、常に謙虚、真摯に学び続けていらっしゃいます。50歳を前にして、九州大学大学院産業学府マネジメント専攻科にてMBAを取得されたことも一例です。グループ討論で深掘りすることで、多くの気づき・学びを得ることができ、自身・自社の成長発展に役立つと確信しております。

18 木 18:30~21:00 中央支部 6月例会

シティーラインに学ぶ、時流をつかむ経営手法！

■ 天神ビル 11階 福岡市中央区天神1-12-1 ☎0120-323-920
 ■ 田浦 通 氏 株式会社シティーライン 代表取締役 (かすや支部)

報告者の経営体験、ビジョンなどを含めた報告を行ってまいります。

18 木 18:30~21:00 西支部 6月例会

経営指針ははじめの一步、ワンシート作り
 ～今、経営者は、何をすべきか？作ってわかった、作って変わった〇〇～

■ 天神ビル 11階 福岡市中央区天神1-12-1 ☎0120-323-920
 ■ 彌重 文朗 氏 花田 理恵 氏 桑原由美子 氏
 川島 教子 氏 八田 葉子 氏 末竹 哲 氏

報告者は西支部ワンシート勉強会に参加して、ワンシートをつくりあげました！その社長の思いを発表させていただき、さらに一步踏み出したいと思います。この発表を受け、経営指針書の作成がない方は、ワンシート作成の大切さや必要性をわかってもらい、また指針書を一から確認したい方も勉強会に是非参加していただきたいです。

18 木 18:20~20:50 筑紫支部 6月例会

サービスのなし ～サービスについての見方・考え方を提唱する～

■ 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1丁目9-3 ☎092-918-3535
 ■ 祐野 博 氏 株式会社ゆうき 代表取締役 (筑紫支部)

「サービス産業は国内GDPの7割を生み出し、経済をけん引する役割を期待されている」時代、皆さんの会社のサービス事業を考える際のヒントにさせていただけるよう、改めてサービスについての見方・考え方を提唱します。

18 木 18:30~21:00 ひびき支部 6月例会

『北九州の経済情勢』～地元企業として出来る事・今後の可能性～

■ コムシティ 大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
 ■ 三輪 仁 氏 九州国際大学 経済学部 教授

今回の例会では九州国際大学の三輪先生をお招きし、北九州市の経済情勢の分析を行い、今までの北九州市・これからの北九州市を見据え御報告いただきます。また、近隣都市の福岡市との情勢比較なども行い、地元の秀でた点・劣点なども検証をしていき今後の皆様の事業展開などのヒントにもなる事、間違いなしです!!地元の企業として今からどうすべきなのか?今一度、見つめなおすチャンスです!!皆さんお誘い合わせのうえ、是非ご参加下さい。

18 木 18:30~21:00 りょうちく支部 6月例会

りょうちく支部版 経営指針作成『あすなろ塾』

■ 原鶴温泉泰泉閣 朝倉市杷木志波20 ☎0946-62-1140
 大熊 充 氏 大熊Webデザイン事務所 代表者 (りょうちく支部)
 馬場 亮次 氏 馬場クリーニング 代表者 (りょうちく支部)
 伊藤賢一郎 氏 有限会社伊藤園芸 専務取締役 (りょうちく支部)

たいへん好評でしたりょうちく支部版のあすなろ塾を昨年に引き続き、企画実施します。経営指針書の大切さをベースに、どのように作成していくかをセミナーへ参加した支部のメンバーが手分けしてわかりやすく、自社で作って経験を基に報告いたします。

19 金 18:30~21:00 糸島支部 6月例会

会社を受け継ぐために何を考え、行動すべきか

■ 前原公民館 糸島市前原東2丁目2番5号 ☎092-322-2481
 ■ 新内 一秋 氏 株式会社筑紫工業 代表取締役 (南支部)

実際に会社を継承された新内氏から継承前、継承後の考えの変化やどのように行動していったかを経営体験をととして報告いただきます。

19 金 18:30~21:00 久留米支部 6月例会

「手強い会社」を作るために必要なものは？

■ 久留米市民サポートセンター
 久留米市六ツ門町3-11 くるめりあ六ツ門6階 ☎0942-30-9067
 ■ 小野 賢太郎 氏 株式会社東洋硬化 代表取締役 (久留米支部)

5月よりスタートする小野ブロックの概要を説明します。小野ブロックのテーマは、「手強い会社を作ろう」。より良い会社を成し、より良い経営者となり、より良い経営環境を周囲に築くためには、「手強い会社」を作ることが必須です。小野ブロックでは5月ブロック会で「手強い会社」の要点具体化作業を行い、6月ブロック会以降、ブロック内の各会員による自社特長プレゼンテーションを行うことにしています。支部例会ではその概要と流れについて説明します。

23 火 18:30~21:00 南支部 6月例会

社員と本当の信頼関係が築けていますか？
 ～経営指針づくりから始まった、同友会で学びと実践を繰り返した生の経営体験報告～

■ 天神ビル11号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 11階 ☎0120-323-920
 ■ 中山 英敬 氏 株式会社ヒューマンライフ 代表取締役 (南支部)

1998年1月に資金ゼロから独立創業、「日本一のコールセンター」を掲げ、夢に向かい突っ走るも次から次にと苦難の連続。その年の10月に自らの意志で同友会に入会し支部例会や全国行事に積極的に参加する。経営指針書をつくり、学びと実践の繰り返しで、苦難を乗り越え成長してきた経営体験を報告します。

23 火 18:30~21:30 企業連携推進委員会 FAST 第11回設立記念報告会

一般社団法人九州の食・躍進と活動！
 “FASTを飛び出しダイナミックに産学官金連携”

■ 福岡県中小企業振興センター 202会議室
 福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-622-0011
 ■ 船木 治 氏 サン・フカヤ有限会社 代表取締役
 若林 宗男 氏 若林ビジネスサポート 代表者

FASTは地域の「仕事づくり」を目指し11年目を迎えました。6月例会は第11回設立記念報告会として開催いたします。産学官連携事例報告として、FASTの活動「食の芽組み」から多くの方のご協力とご支援を頂き、「一般社団法人九州の食」までに発展したその活動報告を致します。

25 木 18:30~21:00 筑豊支部・嘉飯支部 合同6月例会

社長の決意と失敗

■ 直方市中央公民館 第三学習室 直方市津田町7 ☎0949-25-2241
 ■ 中村 高明 氏 株式会社社紀之国屋 会長 (筑豊支部)

右腕左腕を作っていくと今度は人の問題で悩む。みんな同じ。どうやって解決していったのか!「集団への忠誠心」社長に忠誠を誓うのではなく仲間と誓え!「経営指針書は魔法の書」と言われていたが、全然そんなことは思わなかった。作ったばかりに悪いことがたくさん起こった。多くの人は目に見えない部分しか見てない。技術、アイデア等の良さだけで会社がうまくいっているのではない。その会社の内部や流れ目に見えない部分にこそ答えがある!目に見えない経営者の魅力とは?「わたしの失敗を経ての今日」が今回のテーマです。

25 木 18:00~21:00 第120回 新会員 フォローアップセミナー

■ 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15
 福岡県中小企業振興センタービル11階 ☎092-686-1234

6月行事案内

お知り合いの方を誘って、是非ご参加ください。

お申し込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします。

6 土 14:00~17:00

同友すばる委員会
事業承継塾第1講

事業承継計画表の作成

- 電気ビル共創館3F 福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎092-714-5743
- 中村 高明 氏 株式会社社紀之国屋 会長(筑豊支部)

経営者にとって「事業承継」をスムーズに行うことは最大の課題であり、責務です。後継者教育?親族・社内承継?株式承継?など、事業承継に関するさまざまな課題を勉強します。

9 火 19:00~21:00

大牟田支部・ソーシャル
ビジネス委員会合同例会

長野ピンテージビルプロジェクト@光ハイツ 創業100年のピンテージカンパニーを目指して!!

- だいふく 福岡県大牟田市有明町2-1-3 ☎0944-53-3333
 - 石黒 ちとせ 氏 株式会社アドインゴロ 代表取締役(長野同友会)
- (株)アドインゴロは創業86年目を迎えます。ソーシャルビジネスと出会い、福岡のビル再生会社「スペースRデザイン」と協働で『長野ピンテージビルプロジェクト@光ハイツ』がスタートします。築36年の賃貸ビル「光ハイツ」は今、「ものづくりで素敵に暮らす賃貸住宅」へと進化しています。取り組みの中での地域との関わりや自社を取り巻く環境変化、また地域に愛される100年企業『ピンテージカンパニー』になるべく今後の展望について報告します。

11 木 18:30~21:00

福友支部
6月例会

もう一度、同友会福友支部を「知る会」 ～自社の発展のために～

- TKPガーデンシティ天神 福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル8F ☎092-720-8003
 - 山田 秀樹 氏 日本ビルケア株式会社 代表取締役(福友支部)
- 社是はあったものの経営指針がなかった山田さん。同友会で経営者の姿勢が大切であることに気づきました。リーマンショック時にも「何のために事業経営をしているのか」と自問自答を繰り返しました。これまで学ばれたことをどのように自社の発展に生かされてきたかを報告していただきます。

15 月 19:00~21:30

青年支部
6月例会

継承×創業 ～すべては夢を持ち仲間と共に社会に貢献し続ける為に～

- IPホテル 福岡市博多区中洲5丁目2-18 ☎092-262-1965
 - 中野 愛一郎 氏 株式会社イベント21 代表取締役社長(奈良同友会 青年部幹事)
- 中野愛一郎氏は父の急逝により26歳で事業継承。社内改革やWEB戦略による第2創業で社会に貢献出来る企業体質へ転換を果たします。我々も同じ青年経営者として多くの気づきと学びを得て、互いに切磋琢磨していける環境作りへのきっかけとなればと思います。

15 月 18:30~21:00

有明支部
6月例会

- 柳川市商工会 福岡県柳川市三橋町今古賀199-1 ☎0944-73-5400
- 富山 博史 氏 株式会社カンカングループ 代表取締役副社長(大牟田支部)

15 月 18:30~20:30

第4回
共同求人委員会

- 同友会会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
- 田中 浩二 氏 メディア総研株式会社 代表取締役(東支部)

16 火 19:00~21:30

博多支部
6月例会

役員を経験して自分と自社の成長の話

- 天神ビル 11階 福岡市中央区天神1-12-1 ☎0120-323-920
- 北原 勉 氏 社会保険労務士法人 COMMITMENT 代表社員(博多支部)

16 火 18:30~21:00

玄海支部
6月例会

おなか元気で明日を創る

- 天神ビル 11階 10号会議室 福岡市中央区天神1-12-1 ☎0120-323-920
 - 白仁田 裕二 氏 ファインフーズサービス株式会社 代表取締役(久留米支部)
- ・高齢化が進む中「元気」をキーワードに展開する、地域密着で総合的な取り組みを学ぶ。
・ドラッグの経営戦略に基づく展開の実際とその考え方を学び、元気で「強い会社づくり」を考える。

16 火 18:30~21:00

かすや支部
6月例会

みんながイキイキ輝く環境づくり ～未来に残したい職場とは～

- 同友会全体会議室 福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
 - 権藤 光枝 氏 有限会社Branches 代表取締役(福博支部)
- 福岡市内に保育所4園を運営されている権藤さん。同友会での指針書作成をもとに、『園児が楽しく過ごせる保育園、保護者が安心して子供を預けられる保育園、そして社員が働きがいのある保育園づくりとは何か』を考え、それらの環境づくりに励んでいらっやいます。その環境づくりに経営指針の実践がありました。

16 火 18:30~21:00

北九州支部
6月例会

「どん底の中で見出した生きがいとは？」

- KMMビル4F 北九州市小倉北区浅野2丁目14-1 ☎093-511-4101
- 宮崎 栄二 氏 株式会社R101 代表取締役(福博支部)

今回の例会では福博支部より株式会社R101の代表取締役である宮崎栄二氏に報告頂きます。株式会社R101は、洋服のリフォーム・宅配サービス事業を行っており、障がい者の就労継続支援をする会社(就労支援A型事業所)です。社名である「R101」のRはreform(リフォーム)と101は100名の障がい者雇用を目指し、そこから更に一步、前へと進めていくことを表しているそうです。それではなぜ宮崎社長がこのような理念をもたれているのか?それは、これまでに社長が歩んできた壮絶な道程(会社倒産からの再建)に深く関係しています。現在、同友会の「労見解」に基づく“人を生かす経営”を実践している宮崎社長に、これまでの経営体験、障がい者雇用そして今後の展望について赤裸々に語っていただきたいと思います。障がい者雇用だけでなく雇用そのものを考えるきっかけになるとしますので、是非たくさんの参加をお待ちしております。

※就労支援A型事業所とは、通常の企業に雇用されることが困難な身体、精神、知的の障がいのある方や難病の方に「働く場」を提供する事業所であり、最終的に一般就労をしてもらう為に、必要な知識や技術を身につけてもらえるよう努めると同時に、利用者と雇用契約を結ぶので、都道府県の最低賃金を保証しています。

17 水 18:00~21:00

東支部
6月例会

人を生かす経営とは

- ウィズスタイル福岡 福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
- 藤河 次宏 氏 拓新産業株式会社 代表取締役(南支部)

人口減少に歯止めがかからない日本で、今後、いかにして人材を確保し、育てていかなければならないのか。以前のように募集しても応募が来ない!! どうやったら応募が増えるのか?当社で働きたいと思ってもらえる会社になっているのか?社員に支持される会社とはどんな会社なのか?今からでも遅くない!!「人」と「会社」のありかたについて学びます。



月刊

同友

587号

2015年6月1日《毎月1回・1日発行》

頒価/3800円(年間4,500円)送料込み(会員の購読料は会費に含まれます。)

会員からの

自由投稿!

このコーナーでは、会員のみなさんから寄せられた記事をご紹介します。

福岡フレンドシップフェスティバル2015を終えて

御礼

2015年4月12日 晴れ

今年もこの瞬間を迎えることが出来ました。「福岡フレンドシップフェスティバル」は青年支部にとって大切に育ててきた唯一無二の大例会です。そして今年は20回目。

その開催のきっかけはある支援事業所の人たちとの触れ合いとそこで作られた商品の販売支援でした。開催規模や内容は当時から大きく変化してきましたが、地域経済活動の活性化は我々中小企業だけでなく支援事業所も同じです。そのことを念頭に置いて準備を進めてまいりました。

当日は快晴、沢山の支援事業所の皆様、たくさんのステージ出演者の皆様、そしてたくさんの来場者にも恵まれ、大変充実した1日でした。

しかし我々は忘れません。この開催の裏には福岡県中小企業家同友会会員の皆様、沢山のご協力とご支援、ご協賛があったからだ。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

青年支部 36代支部長 永松 拓睦



あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか!

このコーナーの記事を公募いたします。テーマは自由です。川柳、写真、地域の紹介、雑学...等々。みなさんの投稿をお待ちしております。

投稿方法...電子メール、郵送いずれも可。表題に「月刊同友 自由投稿コーナー」とご記載ください。

送付先...一般社団法人福岡県中小企業家同友会 広報情報推進本部広報部 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

もしくは、福岡同友会事務局 旭 (s_asahi@fukuoka.doyu.jp) まで

※応募が多数の場合は編集委員会にて選考いたします。

奮ってご応募ください

東支部会員提供

ぷれぜんと



自分で揚げる手前てんぷら
焼酎ボトル(2,000円相当)
先着3組様にぷれぜんと!

電話予約の際
「月刊同友6月号を見ました」と
言ってください

楽天庵本店

電話 **092-733-0910**
(担当 若松店長・期限6月末まで)

住所 福岡市中央区舞鶴2丁目8-23
ルビエ舞鶴1階

無料
カウンセリング
お気軽に
ご連絡ください

英語・中国語(北京語、広東語、台湾中国語)・韓国語・タイ語・インドネシア語・ベトナム語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語・ロシア語・トルコ語・イタリア語・日本語(外国向け)等
14カ国語の講師が
世界を広げるお手伝いをします。

HSK 認定校

1,000円の体験レッスンが
無料! 同友会会員様限定

ご入校すると入会金が
20% OFF! 中国語レッスンが9,900円(税抜)/月で
3か月受け放題!

個人向け 法人向け マナーマラソン オンラインレッスン グループレッスン 出張レッスン 資格取得 翻訳・通訳

世界が広がる
自分が深まる **HAKATA 外国語スクール**

TEL:092-281-4700 FAX:092-281-4701 info@asiamarketing.jp

〒812-0039 福岡市博多区冷泉町1-3 エクセレンスビル207

アジアマーケティング株式会社

asiamarketing.jp/school/

HAKATA外国語

一般社団法人福岡県中小企業家同友会 広報情報室「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル11F

TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会

検索

環境を守るため再生紙を使用しています。